

豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 17 年 10 月
第 7 号

豊田市では、日本環境安全事業㈱が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、施設の計画や建設、操業などを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

平成 17 年度第 2 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 17 年 8 月 25 日(木)午前 9 時 45 分から豊田 PCB 廃棄物処理施設において、平成 17 年度第 2 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会が開催されました。

委員会には安全監視委員 8 名のほか、オブザーバーとして愛知県環境部廃棄物対策課、処理事業者の日本環境安全事業㈱、さらに収集運搬事業者としてホームックス㈱と三九㈱が出席しました。

また、今回の委員会では、見学者通路と情報公開ルームの視察が行なわれました。

【議事内容(要旨)】

(1) 豊田 PCB 廃棄物処理施設の試運転について

5 月から行われた、PCB 廃棄物処理施設の試運転結果について、日本環境安全事業㈱から報告がありました。

(2) 環境モニタリング計画に基づく事前測定について

立地場所の土壌・地下水の状況について、施設の稼動前に確認するための調査結果の報告が日本環境安全事業㈱からありました。

結果は、揮発性有機化合物、重金属、ダイオキシン類のいずれも環境基準を下回っていました。



【豊田 PCB 廃棄物処理施設の試運転について】

PCB 廃棄物処理施設の試運転では、PCB の分解能力や排気中の PCB 濃度などの、処理施設を稼動していくうえで必要となる様々な項目の確認が行われ、その結果報告がありました。

結果は、全ての PCB 廃棄物の処理済物が PCB の卒業判定基準（PCB 廃棄物ではなくなる基準の濃度）を満足していること、排気中の PCB 等の濃度が管理基準値を下回っていることが確認されました。

（主な確認項目）

処理性能

- ・解体、洗浄された部材のすべての処理済物（容器、金属くず等）が PCB 廃棄物の卒業判定基準を満たしていることが確認された。
- ・コンデンサ等から抜油された PCB 油の脱塩素化分解を行った結果分解完了の評価値である 0.5mg/kg 以下であることが確認されました。

環境保全性能

- ・施設外に排出される排気中の PCB 濃度が、管理目標値である 0.01mg/m³N 以下であることが確認されました。
- ・逢妻男川に排出される排水（生活排水 + 雨水）を、最終放流口付近でサンプリングして分析を行った結果、PCB 等の有害物質は一切含まれていないことが確認されました。

作業環境性能

- ・大型トランス解体エリア、特殊コンデンサ解体室、受入抜油室の作業環境における PCB 濃度が、基準値である 0.1mg/m³ 以下であることが確認されました。

情報公開ルームについて

【情報公開ルーム】

情報公開ルームでは、処理施設の概要がパネルやコンピューターグラフィックスで紹介されています。

また、PCB 廃棄物の受入及び処理実績、環境モニタリングの測定結果なども公開されています。

さらに、GPS による収集運搬車両の運行状況の確認もすることができます。



情報公開ルーム

【委員からの主な質問と回答】

質問

オンラインとオフラインの分析結果は、測定時間中の最大値なのか、平均値なのか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

オンラインはその時間帯における最大値である。オフラインは平均値を測定する手法である。

質問

活性炭はどのくらいの頻度やタイミングで交換するのか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

1年は効果があると思っているが、試運転初期からの稼働で発生した炭化水素化合物の濃度と空気量を見ながら交換していく。

質問

施設から廃棄物として出るものは、排出油と処理済残渣か。また、搬出する事業者はどこか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

搬出事業者は入札前の段階であり、まだ正式には決まっていない。

一番たくさん出るものが処理済残渣である。また、アルミと紙が混入したものが廃棄物として搬出される。金属と油は有価物として搬出する。

質問

見学者コースはどのくらいの年齢を対象者として作ったのか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

当初の構想ではなるべく幅広い年齢を対象にと考えていたが、専門用語や多様な機械設備があるため、大人向けになってしまった。

豊田施設の紹介ビデオは、大人用と漫画を入れた子ども用、それぞれに英語の字幕が入ったものも用意した。

PCB 廃棄物処理施設の開業式

【PCB 廃棄物処理施設の開業式】

平成 16 年 4 月から建設工事を行ってきた豊田 PCB 廃棄物処理施設が、試運転期間を経て、平成 17 年 8 月 29 日に開業式が行われました。

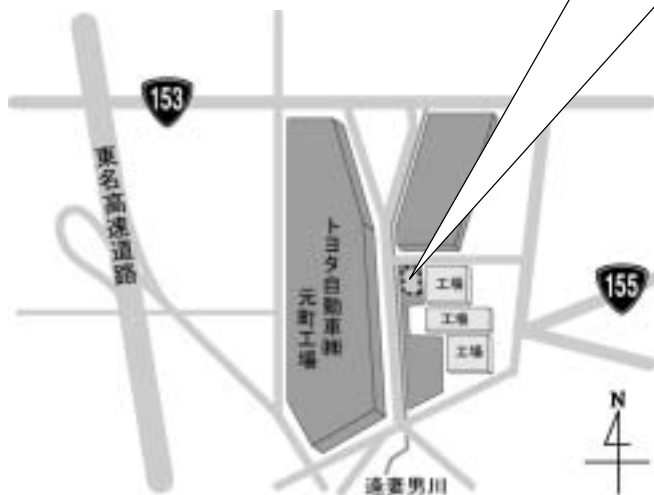


テープカット



施設見学

【豊田 PCB 廃棄物処理施設】



豊田 PCB 廃棄物処理施設

- 処理対象
東海 4 県内の PCB 廃棄物
(高圧トランス、高圧コンデンサ等)
- 処理能力
約 1.6 トン / 日 (PCB 分解量)
- 事業の期間
平成 17 年 9 月 処理の開始
平成 27 年 3 月 処理の完了予定
平成 28 年 3 月 事業の完了予定

【豊田 PCB 廃棄物処理事業に関するお問合せ】

日本環境安全事業株式会社

豊田事業所

豊田市細谷町 3 丁目 1 番地 1

TEL : 0565 - 25 - 3110

FAX : 0565 - 24 - 0543

処理施設は見学ができます。

上記の連絡先でご予約ください。

日本環境安全事業株式会社 (本社)

東京都港区芝 1 - 7 - 17

住友不動産芝ビル 3 号館 4 階

TEL : 03 - 5251 - 1017

FAX : 03 - 3592 - 5606

<http://www.jesconet.co.jp>

安全監視委員会の傍聴ができます。詳しくは広報とよたなどでお知らせします。
安全監視委員会にて配布された資料は、市ホームページまたは日本環境安全事業(株)ホームページにて公開されています。

【連絡先】

豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

E-mail : k_hozen@city.toyota.aichi.jp

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae03.htm>